

講師プロフィール

越谷市消防局 大相模分署 分署長
消防司令長 八幡 勝（やはた まさる）
ニックネーム : ダニエル
生年月日 : S45年11月4日生 (54歳)

【経歴等】

平成6年 越谷市消防本部 消防吏員採用
平成8年 消防署間久里分署第2中隊 特別救助隊
平成15年 消防署第3中隊 特別救助隊
平成21年 埼玉県防災航空隊派遣
平成24年 消防署大袋分署 特別救助隊 隊長
平成26年 消防署 特別救助隊 隊長
平成27年 消防署 高度救助隊発足 隊長
平成29年 消防署大袋分署 中隊長

【ロープレスキュー講習会実績等】

国際消防救助隊員教育（神奈川県 IRT 登録隊員対象）

宮城県消防学校	救助隊長教育研修
宮城県消防学校	校友会編み構造ロープ技術研修
徳島県消防学校 救助科	編み構造ロープ技術研修
和歌山県消防学校 救助科	編み構造ロープ技術研修
沖縄県消防学校 救助科	編み構造ロープ技術研修
沖縄県ニライ消防本部	編み構造ロープ技術応用研修
愛媛県大洲市消防本部	編み構造ロープ技術座学研修
京都府内15消防本部救助技術勉強会	編み構造ロープ技術研修
栃木県消防救助自主勉強会	編み構造ロープ技術研修
福島県消防救助自主勉強会	編み構造ロープ技術研修
大阪府内消防本部	編み構造ロープ技術研修
静岡県自主勉強会	編み構造ロープ技術研修
その他 埼玉県内各消防本部	編み構造ロープ技術自主研修

受講者数 200消防本部 3,000人以上

発想する力をあだてる

KOCHI J RESCUE 2017.3 044

徳島県消防本部
消防署 香川中隊 消防救助隊長
消防官 八幡勝



本誌に執筆するにあたっては、消防隊員としての経験や知識、そして現場での実践から得たノウハウを、読者のみなさんに伝えることを目的としています。また、消防活動の現状や課題についても、率直に意見を述べさせていただきます。



〇 隊長はなぜ消防官になったのか

「消防官になる前は、建設現場で働く職人として働いていました。現場で働く中で、火災や事故の現場で働くことに興味を持ち、消防官になることを決意しました。消防官になる前は、建設現場で働く職人として働いていました。現場で働く中で、火災や事故の現場で働くことに興味を持ち、消防官になることを決意しました。」

「消防官になる前は、建設現場で働く職人として働いていました。現場で働く中で、火災や事故の現場で働くことに興味を持ち、消防官になることを決意しました。消防官になる前は、建設現場で働く職人として働いていました。現場で働く中で、火災や事故の現場で働くことに興味を持ち、消防官になることを決意しました。」

「消防官になる前は、建設現場で働く職人として働いていました。現場で働く中で、火災や事故の現場で働くことに興味を持ち、消防官になることを決意しました。消防官になる前は、建設現場で働く職人として働いていました。現場で働く中で、火災や事故の現場で働くことに興味を持ち、消防官になることを決意しました。」

「消防官になる前は、建設現場で働く職人として働いていました。現場で働く中で、火災や事故の現場で働くことに興味を持ち、消防官になることを決意しました。消防官になる前は、建設現場で働く職人として働いていました。現場で働く中で、火災や事故の現場で働くことに興味を持ち、消防官になることを決意しました。」

「消防官になる前は、建設現場で働く職人として働いていました。現場で働く中で、火災や事故の現場で働くことに興味を持ち、消防官になることを決意しました。消防官になる前は、建設現場で働く職人として働いていました。現場で働く中で、火災や事故の現場で働くことに興味を持ち、消防官になることを決意しました。」

救助操法とは、人や機材を巧みに操(あやつ)る方法である。



八幡勝 (ついでに) 徳島県消防本部 香川中隊 消防救助隊長 消防官 八幡勝

「救助操法とは、人や機材を巧みに操(あやつ)る方法である。現場での救助活動では、人や機材を巧みに操(あやつ)る方法である。現場での救助活動では、人や機材を巧みに操(あやつ)る方法である。現場での救助活動では、人や機材を巧みに操(あやつ)る方法である。」

「救助操法とは、人や機材を巧みに操(あやつ)る方法である。現場での救助活動では、人や機材を巧みに操(あやつ)る方法である。現場での救助活動では、人や機材を巧みに操(あやつ)る方法である。現場での救助活動では、人や機材を巧みに操(あやつ)る方法である。」

「救助操法とは、人や機材を巧みに操(あやつ)る方法である。現場での救助活動では、人や機材を巧みに操(あやつ)る方法である。現場での救助活動では、人や機材を巧みに操(あやつ)る方法である。現場での救助活動では、人や機材を巧みに操(あやつ)る方法である。」

「救助操法とは、人や機材を巧みに操(あやつ)る方法である。現場での救助活動では、人や機材を巧みに操(あやつ)る方法である。現場での救助活動では、人や機材を巧みに操(あやつ)る方法である。現場での救助活動では、人や機材を巧みに操(あやつ)る方法である。」

「救助操法とは、人や機材を巧みに操(あやつ)る方法である。現場での救助活動では、人や機材を巧みに操(あやつ)る方法である。現場での救助活動では、人や機材を巧みに操(あやつ)る方法である。現場での救助活動では、人や機材を巧みに操(あやつ)る方法である。」

